

# 本の中の友だちを、 1年生にしようかいしよう

小学校 2年 国語  
「本の中の友だち」  
読書活動

ねらい

○「友達になりたい登場人物」について友達と伝え合ったり、1年生に紹介したりすることを通して、多様な本があることを知り、読書に親しむことができる。

## 学習展開

- ① 単元の流れを確認する。
- ② 司書教諭、学校司書それぞれが、紹介したい本と、友達になってみたい人物を紹介する。
- ③ 図書館にある本の中から、紹介したい本と、登場人物を見つける。
- ④ ワークシートに「書名」「作者名」「人物の特徴」「友達になりたい人物の特徴」「友達になったら一緒にしたいこと」を記入する。友達になりたい人物のペープサートを作る(本時)。
- ⑤ 1年生に紹介する(アウトプット)ために練習を行う。
- ⑥ 1年生に紹介する(アウトプット)。



本の中の友達  
司書教諭「コットン」  
学校司書「おぼけ」



### 1年生の感想

- ★図書館にはたくさん本があることがわかりました。
- ★読んだことがない本を読んでみたいと思いました。

## 司書教諭と学校司書の関わり

(事前)

- 司書教諭と学校司書で、授業づくりについて打ち合わせを行う。それぞれが紹介する「本の中の友だち」について準備をする。
- 司書教諭は、ワークシートを準備したり、担任と時間調整を行ったりする。

(本時)

- 司書教諭がTIで授業を行い、学校司書・担任と共に、困っている児童に寄り添い支援を行う。

(事後)

- 学校司書は、2年生が紹介した本を、ペープサートと一緒に図書館に展示をする。



### 指導のポイント

- 単元導入で、言語活動のゴールイメージや1年生という相手意識を持たせることで、児童の意欲がぐんと高まる。
- 「友達になりたい人物」をペープサートにすることでさらに愛着がわき、「友達になったら何がしたいか」という想像を膨らませることができる。

## 資料

- 『ノラネコぐんだんそらをとぶ』(工藤ノリコ/作 白泉社)  
 『10人のきなちゃん』(こがようこ/作 童心社)  
 『ほげちゃんとこいぬのペロ』(やぎたみこ/作 偕成社)  
 『まじよのナニーさん～女王さまのおとしもの』(藤真知子/作 はっとりななみ/絵 ポプラ社)  
 『アロと少年』(スーザン・フランシス/作 しぶやまさこ/訳 偕成社)  
 『わかったさんのクッキー』(寺村輝夫/作 永井郁子/絵 あかね書房)  
 『おぼけのてんぷら』(せなけいこ/作・絵 ポプラ社)  
 『ほねほねザウルス～いどめ!さいごのほねほね七ふしぎ』  
 (ぐるーぶ・アンモナイト/著 岩崎書店)  
 『1年1組せんせいあかね』(鹿島和夫/選 理論社)  
 『10かいだてのおひめさまのおしろ』(のはなはるか/作・絵 PHP 研究所) 他5冊